

(一)
文久四甲子年日録
当年春三月元治卜改元被仰出候

(前欠)

六日 三国へ行、名村江着泊り、名村「
十七日 朝飯後名村の嶋加藤方へ行昼飯・夕飯致シ名村へ帰り」
十八日 昼飯後源太郎同道帰村 嶋加藤江三刃ようかん一・忒刃之さと箱□持参「

下女江忒刃

廿日 高屋源助、力利のおはる貫度申来ル

廿二日 三国大助年礼ニ来り泊り、忒刃之さと箱一・忒刃斗ノ菓子箱一・二刃「

廿三日 大助、嘉兵衛方へ泊り

(二 表紙裏)

□喜兵衛「 「右衛門娘ひの兩人江手ぬぐひ一筋ツゝとらせ候

「 「来

「 「右衛門同道ニ而種屋ニ泊り

「 「二宿泊り

(略)

(三)

廿四日 昼前嘉兵衛の帰り、泊り

廿五日 朝大助三国へ帰ル

廿七日 わし塚嘉右衛門年礼ニ来り、万寿札忒刃持来ル、昼後帰□

二月朔日 わし塚嘉右衛門方へ豆腐屋一件頼談へ行泊り

留主中 晩方御「 「□内作之助御遠忌一件御奉加
泊り

「 「次郎兵衛立寄り

「 「□□村松へ行泊り

「 「先の片岡へ行き

「 「牧安へ行き泊り

「 「豆腐屋一件□□着致ス

牧安ニ「 「

七日 朝飯後帰村、天井浅吉外二人足々忒刃来り

七日 板垣猪太夫参り泊り

「 「天井人足多吉帰福、浅吉は残り泊り

九日 朝天井浅吉板垣帰ル

十日 野中小嶋一件しらべニ行き、蛸八十島へ立寄酒呑同日帰村

- 十二日 三国加藤江野中一件調談二初而行キ、同日名村へ行
 夕方加藤へ帰り泊り
- 十三日 朝加藤を出名村へ寄直二帰村
- 十四日 安沢牧田来り、夕飯たべ夕方山室へ行き
 ようかん五匁・酒札壺升到来
- 十八日 付浜山室境小口割立合ニ昼後出、五歩割廿八枚割
- 廿日 森田御養子御引越ニ付御寺へ行、供喜太夫、夕方帰村
- 廿三日 三国行伊藤へ行く、同日帰村、三国嶋家内見候、出村子共老人
 源太夫同道ニ而三人来り、自分定広村ニ而逢

(四)

- 廿四日 名村忠左衛門・新保宮の前喜助商人来り泊り
 名村かつほ壺本・万寿十持来り、喜助ねりようかん一箱持来り
 同日村松藤右衛門来り、菓子箱壺ツ到来
- 廿五日 名村・宮の前并加藤おてつ帰り、出村子供江筆式本・銀壺匁とらせ
 廿六日 昼後村松はり原へ行、自分送り行、村松のもらひし菓子箱「」
 晚方帰村、村松はり原八杉ニ泊り、同日波寄伊左衛門来ル
 晦日出福牧安ニ泊り、天井并吉村庄右衛門へ行ク
- 二日朔日 朝御坊所へ行き御遠忌御奉家内式百匁上ケ同日帰村
- 三日 池尻青蓮寺江御遠忌参り、銀式拾匁上ケ昼飯たべ
 夕方帰村

- 四日 源太郎名村へ帰りニ付送り、供千太郎連レ雨降出水ニ付
 五日・六日・七日名村ニ滞留
- 日 千太郎連レ昼前三国ニ帰村
- 六日 野中へ来り結納伊藤の嶋加藤へ納メ加藤の受取ル
- 九日 布施田へ行き次郎左衛門へ米の手付銀百匁返し夫の波寄へ行キ
 次郎兵衛隠居所ニ而昼飯たべ万寿札三匁持行き市郎右衛門へ名村
 源太郎養子札式拾匁遣ス、昼後仙十郎方へ行キ拾匁持行き
 夫の横越へ行杉本へ行候所亭主留主ニ付帰りかけ候所
 三国出火ニ付キ直ニ三国へ行キ名村へ行キ嶋加藤ニ泊り
- 十日 朝飯後源太郎同道帰村
- 十四日 出福天弥へ上り牧安ニ而昼飯致シ天井ニ而夕飯致シ牧安へ帰り泊ル
- 十五日 朝飯後天井へ行キ天井ニ而昼飯たべ同日晩帰村
- 十九日 森田へ麻種買ニ行柳沢ニ而求メ御寺へ行キ養子祝儀
 伝右衛門へ渡シわし塚嘉右衛門へより夫のほり原八杉へ立寄
 夕方帰村、但源太郎同道
- 廿二日 御遠忌参り出福、牧安へ上り昼飯内ニ而たべ夕飯天井ニ而
 たべ、但源太郎同道、牧安ニ帰り泊り 「」来り
 宿泊メ

(五)

- 廿三日 牧安ニ而朝飯致し夫の御坊所へ参り源太郎同道御「」

勘定講下宿所正木真藏方へ行昼飯致し御八ツ座後牧安「」
 夕飯致シ夕方帰村、遅う成あどせ善兵衛へ寄、子息送り呉候一「」

廿四日 朝善兵衛子息帰ル

廿六日 出福御坊参り、三国大助同道、大助は牧安ニ而昼飯

致ス、自分ハ昼飯なし、御坊出勤牧安へ帰り泊り

大助は直ニ帰宅

廿八日 牧安「」朝飯たべ同日日中後帰村

晦日 吉左衛門・喜助・舟ニ而出福、おはる、たんす・長持・駕取ニ行

牧安ニ而昼飯致ス、夕方帰村、舟ちん三拾匁吉左衛門へ渡ス

三月廿八日 苗代種入

四月三日 野中五左衛門出火見舞ニ行、酒札五升三国池の上ニ而求メ遣ス

但、老升六匁ツ、此代銀〆三拾匁五左衛門殿へ渡ス、次郎兵衛・吉兵衛同道ニ而

三国へ出田辺五郎右衛門ニ而酒のミ夫の野中へ行夕方三人同道ニ而帰村

三日 太郎丸新左衛門方高江佐右衛門の駕入ニ付自分行キ度申居候所、野中五左衛門

出火ニ付野中へ行多藏太郎丸へ遣ス、万寿札式匁遣ス

八日 糸崎助左衛門家内および病氣見廻ニ来り、泊り

山のいも一は・孟宗老本・さと生が半斤・玉子十〆四品見廻到来

九日 朝助左衛門家内引取ル

丸岡後藤利兵衛江上江行とて立寄ル、単半紙百枚斗・手ぬくひ一、是ハ母江

二品到来

十一日 御用金割ニ付出府、種屋ニ泊り

十二日 役所へ詰メ御用金高割致し役所ニ而昼飯たべ種やニ泊り

十三日 朝種屋を出福井井上猪助方へ寄、黒さと五匁持行き

昼飯たべ夕方帰村

十六日 野中小嶋五左衛門火事礼返しニ来り、鯉ぶし式本・銀五匁持来ル

小嶋同道ニ而横越へ行、杉本ニ而昼後馳走ニ成り夕方帰村

杉本江手ぬくひ一・万寿札三匁持参

(六)

十七日 田嶋百歩わたまき、但昼前

廿日 三枚越五十歩わたまき

廿一日 出福、村松へ行き昼飯致し馳走ニ成、夕方帰村、かれ五枚持参、代五匁

廿三日 わし塚嘉右衛門江昼寝起後行、夕方次郎兵衛同道帰村

銀五匁わし塚へ菓子料持行き

五月二日 晩方村松同道ニ而出福、村松ニ泊り

三日 早天村松を出府中へ御用金割方之儀ニ付御用出府、種やニ泊り

四日 種屋ニ泊り割方致し種屋ニ泊り

五日 朝種屋を出村松へ寄昼飯致し府中へかれ三枚持参、あじ五ツ

村松へ遣ス、夕方帰村、割方一件ニ付此度福井村松ニ一宿、種屋ニ二宿

前方名代として次郎助を遣シ府中種屋ニ一宿、自分種屋ニ二宿、〆三宿

割方一件ニ付前後〆六宿

六日 昼時村松喜十郎殿来り、金子拾五両渡ス、芝舟老袋持来り

七日 名村江行、千太郎供ニ而□□行、夕方帰り
 嶋加藤へたご表、名村へだこ二重・小豆式升
 十六日 板垣渡辺幸吉来り、土産手ぬくひ二・扇子式本・江戸絵七枚
 手風呂敷一・万寿二匁もらひ申候
 十七日 昼後幸吉引取り
 十九日 昼後わし塚嘉右衛門方江浅水浄照寺御出ニ付参詣、馳走ニ成
 初夜後二人送呉レ帰村
 廿六日 三国へ行き調達銀借用ニ名村へ行き九匁之鯛巻枚遣ス
 村松老人同道ニ而行キ田辺五郎右衛門方ニ而休ミ夕方帰村
 六月九日 夜清兵衛方へ行、酒出し馳走ニ相成遅ニ帰り
 十三日 出福、天弥江上り同所ニ而昼飯たべ松本筋御祝見物、同日帰村

(七)

十六日 わし塚嘉右衛門来り泊り
 十九日 昼後牧安来り、金平糖式匁土産持来り、晩方帰福
 十八日 夜多蔵義おくの江物言ヒ悪敷ニ付しかり候所法外申立自分江
 過言申夫ニ付自分義こらへかね異見仕候所自分柄手を
 ふり上ケ親を庭江ねぢふせちよちやく致し直ニ其まゝ出奔致し
 申候夫ニ此方ニもかまわす其まゝ打捨置申候
 「自分ニ取候ては
 前代未聞之
 事ニ候、生涯
 忘レ不申様
 急度寛居
 申候」

同日 夜およきも嶋崎へ行ト申内を出申候

廿三日 板垣村伊兵衛夕方来り泊り

廿六日 板垣村伊兵衛・嘉兵衛兩人挨拶致し呉候而多蔵の侘書

一札入誤り入候旨ニ而嘉兵衛方ニ嘉兵衛多蔵をつれ来り

呉申候

同日 昼後板垣帰村致ス

六月廿七日 朝出福、牧安ニ而昼飯致し夫ニ村松へ行、御坊所へ参り夕帰村

七月二日 昼後四十谷勘兵衛・三右衛門同道ニ而行キ井向御法座

参り夕方帰村、勘兵衛方へ銀五匁持行き

六月廿八日 調達銀一件ニ付配符府中ニ到来、多蔵同日出府

府中ニ一宿

同廿九日 多蔵福井牧安ニ泊り

七日 朝帰村

七月五日 三国名村へ盆礼参行き、供喜太郎、夕方帰村

かた「」五ツ・ねふか十かぶ斗・銀拾匁持行き、銀包ミは返ス

七日 庄屋次郎兵衛へ盆森ニ行き

家ニ式拾〇四分
高三拾四〇五分

(九)

同八日 村松藤右衛門殿来り、菓子壺袋持来り
昼後帰り、但御上銀才覚二来ル
十四日 嘉兵衛方へ多蔵介抱ニ相成候ニ付酒札三升礼遣候へ共
不受ニ付そうめん玉五ツ遣し申候、壺ツ式匁分ツ、使おはる
十五日 弥三右衛門ひねり礼として中村酒札壺升・そうめん玉壺ツ
使おしゆんを以遣ス
十九日 野中北嶋へ行供藤右衛門 不火入酒三升 かつほふし式本
代壺升ニ付六匁五分 此代二本拾四匁
大かたうり七ツ、三品持参、藤右衛門へ御引式匁出ス
廿日 鷲塚北嶋江盆礼旁佐太郎くのニ被負つれ行見て
もらひ夫の森田寺江盆参り佐太郎つれ寺ニ而中飯致し
昼寝後帰り、寺江銀五匁、奥方江白さと箱一ツ
持参
廿八日 太郎丸新十郎、およき一件二来り、酒札壺升土産
もらひ昼寝起後帰り

八月七日 出福牧安ニ泊り、天井弥助へ行き

同八日 牧安ニ泊り

同九日 村松ニ泊り

同十日 村松ニ而中飯致し夕方帰り

同十一日 太郎丸おゆう病氣見廻ニ昼後行き夕方帰り

金平糖五匁斗酒札壺升持参

同十二日 今引曰すり自分・喜兵衛・勘助・栄助・おじゆん、男女五人

此米十表ト納三斗 あら本

但わせ・おくて共

もち納三斗ト芋五升 あら本

此歩九百式拾八歩五り

(十)

十三日 夜嘉兵衛、清兵衛一件之義ニ付松知寺へ参り

十四日 森田御新発意光臨寺召連レ初而御出、扇子式本

沈香壺袋土産被下

十七日 出福牧安へ行、夜分村松・寺中村善兵衛・自分・牧安家内、四人谷安行

そは・しるこ・酒肴さし、此割村松・寺中・自分三人割、未払

十八日 昼前村松同道谷安へ行、此はらひ村松ひかへ出ス、半銀村松ニかり

昼後長次郎ニ合牧安ニ而昼飯いたし長次郎同道帰り

廿日 夜清兵衛方江よばれそば切

廿一日 すゝばき、勘介・喜兵衛兩人シテ

- 昼後 村松隠居来り泊り、ミヤげあんころ式匆持来ル
 廿二日 昼後村松隠居帰福
 廿一日 夜およき来ル
 廿三日 村松喜十郎供卜兩人わし塚嘉右衛門皆昼後來ル
 喜十郎の柿十ミヤげ
 廿八日 朝御講当番相勤
 廿八日 夜二ツ印配符到来二付
 廿九日 朝嘉兵衛同道出府、種屋三泊り、但牧安二而中飯
 晦日 府中御館ニおゐて御家老大貫演舌二而
 金百五十両調達御頼同日昼後御清水二而
 御吸物・御酒被下種屋へ泊り
 九月朔日 朝種屋より出立、村松二泊り夜分谷安行
 酒肴代肴や清二郎の送り
 二日 村松二而昼飯致し昼後帰村
 (十一)
 五日 朝安沢村弥右衛門来り、素麴壺箱持来り、もらひ申候
 同日 野中五左衛門見へ酒式升・たらのつぎ五本もらひ申候
 六日 朝随応寺御講与兵衛・与助・彦右衛門・和助・儀兵衛
 次郎右衛門宿共七人
 不快五兵衛
 同日 御講後三国名村行、喜兵衛連レ揃大根一駄・茄子三十五遣ス
 夕方遅ニ帰村
 九日 板垣へ行泊り
 十日 朝飯後板垣出立、村松へ行中飯いたし谷安へ行
 てんがく一丁・なし・くるミニ而酒五合、但村松卜兩人晩方帰村
 十二日 昼前喜兵衛・多三兩人兵庫源五郎方へ竹三十本取三行、十本式拾八匆ツ、
 素麴箱壺源五郎方へ被指遣ス
 九月十三日 石田へ菓取并調達銀一件心配券出福、谷安二泊り
 十四日 昼後帰村
 十六日 晩村松老人来り、夜分迎人来り、夕飯後引取ル
 十七日 三国名村江金式十五両替ニ喜兵衛使三行
 式十五両と銀札
 両ニ付百六拾七匆ツ、四貫百七拾五匆ト相成申候
 十八日 出福谷安二泊り、夜分調達銀金五十両御屋敷落合へ頼ミ
 府中へ相届候様願込
 十九日 同谷安へ泊り
 廿日 同断
 廿一日 朝谷安出立、帰村
 廿六日 毛見和田藤田代官手代嘉兵衛宿西川ばたまで
 多三御出迎ひ、昼後和田遊ひニ来り、酒出ス

(十二)

同日 昼後村松藤右衛門来り、和田卜付合酒吞

廿七日 朝毛見東水門迄多三送り、同村松帰福

同日昼後出福、谷安二泊り

廿八日 石田江葉取二行、昼後谷安の帰村

九月晦日 鷲塚嘉右衛門方へ行候所留主三付直二はりはら村八杉へ行キ

銀子借用頼ミ酒札老升持行昼後帰村

十月三日 府中御隠居様御葬式出府、種屋へ泊り□□(袴)は

次郎兵衛へ頼ミ持呉レ三右衛門・次郎兵衛同道

四日 御家老三軒御郡様御吊帳面付翌五日御焼香

被仰付候得共不快達候、四日昼後二右衛門同道□□(袴)持くれ

兩人牧安二泊り夕飯後牧本彦三郎行朝飯前牧安帰り

五日 牧安二泊り、谷安行又牧安へ泊り外夕飯後谷安行キ

六日 昼後帰村、同日今村次郎兵衛の銀四貫匁借用致ス

十月八日 昼後わし塚嘉右衛門方へ行キ泊り、老貫匁返済

九日 朝飯前わし塚嘉右衛門の帰村

十一日 源太郎名村へ帰り、送り人嘉兵衛、金八両替両二付百六拾七匁ツ、

赤飯二重・はちや柿五十・なた柿五十・いものこ三升・牛房老わ

同日 名村へ遣ス、先方の何も不来

同日 鷲田江いものこ三升、米四江牛房老わ遣ス

十二日 豆打大豆六表半ト京六升有、人足亀次郎・多三・栄助・おせつ・おくの

自分豆末結び、嘉兵衛は休ミ

十三日 本多源四郎様十六日御上坂之使者来ル、夜三右衛門方へ行キ

銀老貫五百匁借用、□順方へ行キ

十五日 本多源四郎様明十六日御上坂二付暇乞二行御上御目通り

金式朱上ケ式拾匁八分七りと成ル、百六拾七匁金村松喜十郎殿

も上坂二付餞別拾匁進申候

同日牧安二而昼飯致ス、同日夕方帰村

(十三)

廿日 出府、但十八日配符二ツ印二而到来、御用金割

同日上鯖江豆腐屋二泊り

廿一日 朝府中へ着種屋へ行、夫の郡役所へ行、役所二而昼飯

廿二日 用金割役所二而昼飯

廿三日 右同断、昼飯も同断

廿四日 右同断

廿五日 朝種池武兵衛ト同道府中を出立、牧安二泊り

廿六日 朝飯後村松へ行昼飯致し牧安へ帰り夕方帰村

十一月三日 大根洗ひ人足多三・亀次郎・弥三右衛門嫁くの

四日 安沢牧田二行芝舟老袋・くずのこ二袋二品持参

夫の帰村、又八杉へ行わし塚嘉右衛門方へ行夕方帰村

八杉へ式匁之さとはこ一持参

霜月三日 相役和助府中ノ帰村致候節役所ノ来候夫人足書付

夫人足雇料□□札拾式匁ト御定被成候段被仰付

於村々ニも拾式匁ノ決而過銀を差出シ間敷候、尤人足

都合不致候節は百姓雑家強壯之者鬪引ニ而罷出候

様被仰出候、此度之義は御高恩を存詰厚出精

可被候、為其急度申遣者也、十月十四日郡役所

同六日 出福谷安ニ泊り、但兩人○府講牧安名代ニ遣ス

同七日 府講山仁右衛門牧安名代ニ遣ス、谷安ニ泊り

同八日 谷安ニ泊り

同九日 牧安ニ而昼飯たへ夕方帰村

(十四)

同十一日 三国加藤江野中一件春迄延引咄ニ行帰村

同十二日 多三府中へ行調達御用

同十三日 多三嶋崎ニ泊り候由

同十四日 昼前多三帰村、府御上ノ調達五十兩利元銀共

御下金多三取帰り

同十七日 出福、買物喜兵衛連レ谷安ニ而昼飯、兩人共弁当持參、帰村

同十九日 森田寺秋廻り、晩方森田ノ送り若院様從僧光臨寺

兩人泊り、五匁斗之菓子箱被下

同廿日 此方ノ御勤行志拾匁、秋初穂五拾匁若院様江上ケ

銀五匁報恩講、銀拾五匁秋初穂光臨寺江上ケ

江上村迄送り、寺番喜太夫

外ニ弥三右衛門よめおちわもよび

報恩講相伴人は年柄ニ付止メ致ス、おせつ・おなを・おミよ・おりを・千代藏・長十郎ノ六人相よび申候

十九日 晩方村松隠居来り泊り、羊羹一もらひ

廿日 朝飯後村松隠居帰福

廿一日 源太郎・嶋おてつ兩人同道、晩方野中一件ニ付来り

廿三日 右兩人帰り

廿四日 五昼夜参詣、出福、谷安ニ泊り

廿五日 同断、畑并片岡行

廿六日 同断

廿七日 同断

廿八日 夕方帰村

十二月三日 三国加藤・伊藤両家所へ行キ夕方帰村

八日 朝早天七ツ出立、おはる野中へ行キ送り、自分一人嘉兵衛同道

安沢ニ而東白ミニ相成申候、人足助右衛門・喜兵衛・長次郎・喜太夫・善六

平次郎・勘助・八左衛門・利吉・藤左衛門・五郎作・多左衛門・栄助・吉左衛門

仙松・市之助 是は嘉兵衛ノ連レ

(十五)

男十六人 外ニ付女房おせつは十二月十五日おはる同道ニ而帰村

是は八日夕方帰村

又外ニ髮結老人三國巻屋おしな是は九日晚方帰り申候
六日 昼後喜兵衛三國江迎ニ行泊り、但嶋加藤ニ泊ル
七日 昼前髮結おしな喜兵衛同道ニ而来り、八日同道駕ニ而野中へ行き

但大風雪ニ而無扱駕ニ而遣申候

九日晚三國へ帰り

自分喜兵衛は野中ニ泊り、但大雪風ニ而難帰ニ付喜兵衛ハ九日朝野中を出
三國江出帰村、自分喜兵衛を連レ九日夕方帰村
三國嶋おてつは母代ニ而八日野中へ行、是も九日引取り申候
おせつは八日〇十五日迄八日逗留、おせつ帰候節先方〇銀式拾五匁ニ手ぬくひ一
野中〇遣し申候由小嶋子息〇銀拾匁呉もおせつニ遣し申候由ニ御さ候

十七日 森田大二後家秋初穂取ニ来り、銀五匁ト豆耆升
遣し申候

十八日 府中御上ニツ屋迄御出陣ニ付御見廻ニ出府

十九日 ニツ屋迄行、献上式拾匁之菓子箱一ツ、但府中亀やニ而
嘉兵衛ト同人シテ上御家老中へ酒式升、御目付御奉行中へ

式升、酒井方右衛門殿へ耆升、同日ニツ屋ニ仮寝致し

廿日 府中迄帰り、種屋ニ泊り

廿一日 夕方帰村、府中御上江ニツ屋御本陣ニ而たきもの

初音ト言ねり香少入物共献上致ス

廿日 夜調達利足三歩ト七匁五分并ニ調達受取書付共三枚

村松半兵衛殿へ相渡ス

廿五日 朝おはる野中へ帰り送り駕人足平次郎・市助・善六

(十六)

栄助・勘助・下女くの男女六人

ミやけ銀拾五匁酒・拾匁斗之菓子箱・今庄柿五十

赤飯式斗七升

大年 酒式升歳暮として嘉兵衛方へ、使おくミを以

被指遣し申候得共相返し申候

(十七)

正月九日 高屋信行寺月忌泊り晚法談、布施三匁上

十四日 千歩寺御しんぶつ御出御法話、式匁菓子箱一ツ被下此方〇三匁上ケ

十五日送り喜兵衛御寺迄

二月十三日 新保専久寺泊り法座、布施五匁役僧江式匁

三月二日 新庄村長福寺様泊り御座、菓子料三匁上方寿札式匁到来

同八日 西袋村常然寺泊り、御法話、万寿耆匁被下、式匁上ケ

四月六日 梅はら教願寺横泊り、御法話中角迄迎人足喜兵衛・栄助・多左衛門

御院主江菓子料拾匁、役僧江三匁、侍江式匁

四月廿五日 浅水浄照寺御出泊り、御法話、さと箱式匁被下、此方〇五匁上ケ

六月一日 湯尾条源寺様泊り、御法話、菓子箱被下、此方〇五匁上ケ

七月九日 新保専久寺様泊り、法話、五匁上ケ、所化江式匁上ケ
七月十六日 福井還相寺様泊り、御法話、白さと少被下、銀式匁上ケ
十月十日 浅水村浄照寺泊り、およき産中故御法座休ミ、白さと箱一
被下、此方〆五匁上ケ、十一日朝飯後引取り